

イスラエル経済月報(2017年10月)

在イスラエル日本国大使館 (担当: 経済班 松本理恵)

<目次>

イスラエルの動き (主な報道) 2

主要経済指標..... 5

1. 経済成長率 (GDP)
2. 消費者物価指数 (CPI)
3. 貿易 (Export & Import of Goods)
4. 失業率推移 (Unemployment rate)
5. 為替推移 (Exchange Rate)
6. 公定歩合 (interest rate)
7. 外貨準備高 (foreign reserve)
8. 主要株価推移 (TA35)

日本-イスラエル 経済関係..... 10

- イノベーション 日本・イスラエルイノベーションサミット開催
- イノベーション オープンイノベーション普及団体にイスラエル企業参画
- 医療 コランダム, 冠状動脈可視化の CathWorks に投資
- フィンテック SBI, メッセンジャー送金 PayKey に投資
- フィンテック イスラエル企業9社が訪日, SMBCがミートアップ
- スタートアップ 日経新聞でイスラエル起業家特集
- ロボット トヨタ研, Intuition Robotics に投資
- 観光 日本発, 訪日ユダヤ人旅行客の受入れセミナー開催
- サイバー 丸紅 ITS, Cyber Secdo の事前対策型製品を販売
- サイバー イスラエル発・ダークウェブ人材育成アカデミー開設
- 自動化 インフォコムが NICE 社の業務自動化システムを提供開始

展示会・国際会議の今後の予定..... 14

- 家具 TIMBER 2017 (11月21~23日, テルアビブ)
- 食・サービス Food & Hospitality Week (11月28~30日, テルアビブ)
- ライフサイエンス ヘルスケア技術革新 (12月3~6日)
- 医療 ICI 2017 (12月3~5日, テルアビブ)
- テロ対策 IT & ST (12月13日, テルアビブ)
- サイバー CyberTech (2018年1月29~31日, テルアビブ)
- 観光 IMTM (2018年2月6~7日, テルアビブ)
- 都市 MUNI EXPO (2018年2月13~14日, テルアビブ)
- 医療 国際 ADHD 会議 (2018年3月19~21日, テルアビブ)
- 農業 AgriTech (2018年5月8~10日, テルアビブ)
- サイバー CyberWeek (2018年6月17~21日, テルアビブ)

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1 日 ネタニヤフ首相は、米国式の官僚の民間登用を増やし、欧州式の専門職公務員を減らしたいと切望。しかし閣僚間の議論はまとまらず、閣議での採決は延期された。
- 1 日 経産省は、中国の投資ファンド・盛京グループと共に、北京にイスラエルスタートアップ起業を支援するアクセラレーターを設立。まず 5 社が 6 カ月の支援を受ける。
- 1 日 仏アルストム社が、伊アルサンドと中 CRSC を下して、テルアビブライトレールの信号調達を落札。入札金額 3.9 億 NIS は、当局の内部見積りをわずかに下回る額。
- 1 日 第 1 四半期のイスラエル・ロシア間貿易は前年比 25% 伸び 3.8 億ドルに。両国はシリア関連治安対策で協力。ロシアの対欧米貿易は、ウクライナ侵攻の制裁で減少。
- 2 日 財務省チーフエコノミストによれば、昨年民間部門の生産性が停滞したのは、超正統派ユダヤ教徒とアラブ系国民が労働市場に参加し、多くが低賃金で働いたため。
- 2 日 中国コンソに 44 億ドルで買収されたゲーム企業 Playtika が、ラインナップの多様化を目的に、同じくイスラエルのゲーム企業 Jelly Button を数千万ドルで買収した。
- 2 日 エネルギー大手 Delek 社は、ロシアのガス大手 Gazprom 社と覚書を締結し、輸送及び施設用の天然ガス利用の実証を行う。昨年のエネルギー省間合意を受けたもの。
- 3 日 クラウド投資ファンド OurCrowd が、スペインの VC と提携。マドリッドに、米国・カナダ・オーストラリア・シンガポール・英国に次ぎ 6 番目となるオフィスを開設。
- 3 日 銀行監督当局の海外活動縮小を求める通達が出された直後、ハポアリム銀行はスイス支店閉鎖を発表。閉鎖により同銀行は海外に実質的な銀行業務を持たなくなる。
- 4 日 9 月期の税収は過去最高の 295 億 NIS に。買収に伴うモバイルアイ株主からの納税が 41 億 NIS。税収増により、過去 12 カ月間の財政赤字は GDP 比 1.9% まで減少。
- 4 日 各国でサイバーテロが相次ぎ、チェックポイント社の価値が急上昇。1 年で株価は 49% 上昇し、現在の市場価値は 188 億ドル、TEVA を抜きイスラエル最大企業に。
- 8 日 運輸省は、ヘルツェリア近くの 531 号線を 2 カ月間閉鎖し、自動運転専用道とする。対象 5 社（Nexar, GM Israel, Mobileye, Innoviz, Argus）が実証実験を行う。
- 8 日 ベエルシェバのベングリオン大学と技術パークをつなぐ、通称「DNA ブリッジ」が、3 年に一度ベルリンで行われる歩道橋カンファレンスの長期部門で表彰された。
- 11 日 中国 e コマース大手・アリババがテルアビブ R&D センターを開設へ。CTO が発表した研究プログラムの一環で、他に北京、モスクワ、シンガポール等 6 箇所が対象。
- 15 日 税務当局は、所得の不正報告の取締を強化。年収わずか 6 万 NIS と報告した”貧しい”国民が、海外で 1,000 万 NIS の時計を購入していた例などを突き止めている。
- 15 日 司法が、急に従業員 140 人のレイオフを発表したネゲブ・セラミクス社に、10 日間は労働組合と交渉するよう命じた。経営陣は、月数百万 NIS の損失だと訴える。
- 15 日 ネタニヤフ首相は高額所得者（月 2~3 万 NIS）向け所得税率の引き下げを支持。ハイテク人材の国外流出を目的としているが、中央銀行の強い反発が予想される。
- 16 日 住宅市場の冷え込み続く。財務省は 8 月期の住宅販売はわずか 8,300 戸で、前年同月比 13% 減、過去 10 年で最低水準だとし、住宅市場は「停滞」状態だと表現した。

- 16日 インテルイスラエルが AI センターを開設。同社のグローバル AI 戦略の一環で、研究者数十名を雇い入れ、サムスンからインテルに移ったゲルシオン氏が所長となる。
- 17日 IAI が、炭素繊維加工メーカー・韓国カーボン社と合併企業を設立。最大離陸重量 300-450kg の垂直離陸ドローンを開発し、韓国の軍事・民生の両市場を狙う。
- 17日 全米経済研究所の調査によれば、世界経済におけるイスラエルの寄与は 1%未満だが、スイスで外国人が保有する資産の 2.5%はイスラエル人が保有している。
- 18日 ヘブライ大学技術移転機関 Yissum の CEO が交代。新任のダニエリ氏は米国企業出身で「知人には『Yissum 改革は不可能』と言われたが、やり遂げたい」と述べた。
- 18日 JVP は、小売や金融技術向けの AI・ディープラーニング関連スタートアップ向け事業の立ち上げを発表。テスコ、パークレーズ、マイクロソフト、デロイトと協業。
- 19日 イスラエル鉄道は、ビンヤミーナ駅~テルアビブ大学駅間で主要なインフラ整備を行うため、鉄道を 5 日間運休すると発表。8 月の運休同様、交通渋滞が予想される。
- 19日 カハロン財務大臣は、国防軍との非公開会談において、予備役の兵士へのインセンティブを検討していると述べた。財務省職員が事務的に調整して最終案を決定する。
- 22日 テルアビブ市が 8200 社会プログラムと協力し、アクセラレーターを立ち上げる。テルアビブ南部の QOL 向上につながる技術を持つ起業家を 5 カ月支援する。
- 22日 イスラエル企業 RoboTiCan が、災害時に怪我人の場所を特定し救助する空陸両用ロボットを開発。ベエルシェバで開催中の NexTech カンファレンスで披露された。
- 23日 17 の単科大学の上級職員らによるストライキが続いたまま、新年度が開始。10 年ぶりの大規模ストライキで、学生らは若い教員に教えられて予定通り授業を受けた。
- 23日 ガザ地区を囲む新たな壁の建造事業（6.4 億 NIS 規模）を、イスラエルの大手インフラ企業 Shikun U'Binui 社が受注。同社は初回の 2.2 億 NIS 事業も受注している。
- 23日 ネタニヤフ首相は、議会の冬期会合の開会式で、カハロン財務相と税金の引き下げについて合意したと述べた。ただし 2019 年予算の詳細については言及しなかった。
- 23日 テルアビブ 4 棟目となるアズリエリタワーが建設許可を得た。敷地 10 エーカーに 90 階建ての商業・住居混合ビルで、旧 Yedioth Ahronoth ビルの敷地に建設予定。
- 23日 テルアビブ地裁は、マクドナルドに対する従業員らの集団訴訟に、従業員用の椅子がないこと等から「残虐ではないにせよ、労働者の権利無視に抵触する」とした。
- 24日 バイナリーオプション禁止法（議員立法）が議会通过。本法案は、イスラエルでバイナリーを扱う女性が JFK 空港で FBI に逮捕されたことで緊急性を増した。
- 24日 イスラエルスタートアップの第 3 四半期の調達額は 140 件超で合計 14.4 億ドル。前期比 14%、前年同期比 54%増となり、過去 9 カ月の合計は記録的な 38 億ドル。
- 24日 イスラエルの最低賃金が月 5,300NIS に引き上げられる(300NIS 増)。過去 3 年で 4 度目の引上げで、上昇幅は計 23%に。労組側は「歴史的な上昇」と成果を強調。
- 25日 財務省と証券庁によるハイテク投資ファンドマネジャー公募に 5 グループが応募。4 者が選ばれ、損失の最大 20%又は 2,000 万 NIS（低い方）を国家が補償する。
- 25日 アインシュタインが 1922 年に東京・帝国ホテルでベルボーイにチップ代わりに手渡したメモ 2 枚が、オークションで落札された。計 156 万ドルがヘブライ大に入る。
- 25日 中央銀行は 11 月末から新 20NIS 札及び 100NIS 札が流通すると発表。いずれにも詩人の肖像が掲載される。ATM 等の自動機械は、新紙幣への対応が必要となる。

- 25日 国防軍 8200 部隊出身スタートアップが米国向けロードショーに参加。医療や食品、画像認証等の企業が含まれ、10 日間でニューヨーク、ボストン、シカゴを巡る。
- 26日 破綻したエア・ベルリンが週 2 便のテルアビブ-ベルリン便を閉鎖するのと入れ替わりに、ゲルマニア空港が同区間の直行便を開設する。週 3 便、片道 79 ユーロから。
- 26日 最高裁は、スーパーマーケットやカフェの土曜(安息日)営業を認めるテルアビブ市条例を支持。デリ内相が懸念を表明していたが「非合理的」として考慮しなかった。
- 26日 財政赤字見通しが予想より良好だったため、2018 年予算に余剰金 35 億ドル発生。来週から閣僚間での取合いが始まる。首相、財相、国防相等の増要求が見込まれる。
- 26日 田辺三菱製薬が買収した NeuroDerm 社創設者である Schlesinger の、もう一つの創設企業アナリスト・リサーチ・ラボラトリーズが、独 Tentamus 社に買収された。
- 27日 テルアビブ大学の訪問団が、バチカンでローマ教皇に拝謁。団長のクラフター学長は「我々は人種差別や反ユダヤ主義、あらゆる非寛容の打破を目指す」と述べた。
- 29日 欧州並みの低価格でスポーツ用品を販売する仏デカトロン、1 号店の在庫不足問題が続く中、早くもハイファに 2 号店を計画中。5 年以内には更に別店舗も検討中だ。
- 29日 経費削減又は新税導入の無い資金配分を禁じる財務責任法に基づき、閣議で今後 3 年間の見通しが議論された。首相は「今年の収益は予想を上回る」と強気の見通し。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● IMF, イスラエルの経済予測を上方修正

国際通貨基金（IMF）は、ワシントン DC での年次会議を前に発表した世界経済レポートの中で、イスラエル経済の成長予測を引き上げた。4月の報告では、2017年と2018年の成長予測を3%としていたところ、今回は2017年に3.1%、2018年に3.4%の成長を予測している。さらに、IMFの最新の報告書では、イスラエルのインフレ率は2017年0.2%、2018年0.5%となり、2014年～2016年の3年にわたり続いたマイナスのインフレ率に終止符が打たれるだろうと予測している。

なお、IMFは、世界のGDP成長予測も2017年3.6%、2018年3.8%とそれぞれ前回予測を0.1%上回る形で修正した。その他の成長予測は、米国が2017年2.2%、2018年2.3%、ユーロ圏が2017年2.1%、2018年1.9%。新興国は2017年4.6%、2018年4.9%。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-imf-raises-growth-forecast-for-israel-economy-1001207660>)

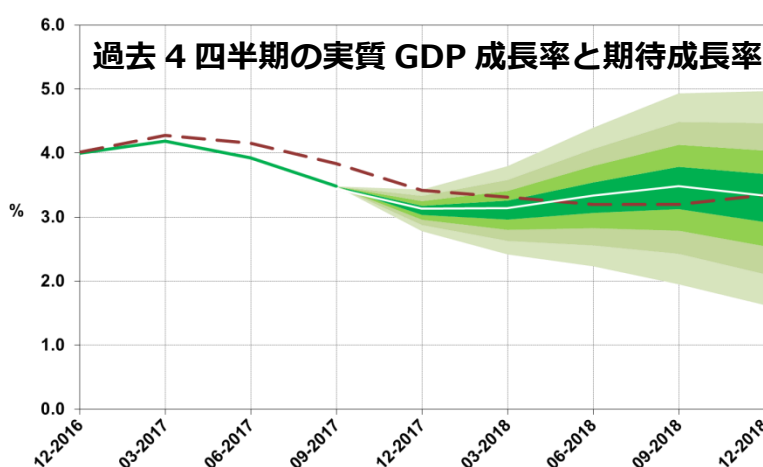
● 中央銀行, 成長予測を引き下げ

イスラエル銀行の研究部門は、2017年の経済成長予測を3.4%から3.1%に引き下げた。2018年の成長予測は3.3%、今後1年間（2018年第3四半期まで）のインフレ率は1.0%と予想されている。また、中央銀行の金利は、2018年第3四半期まで現在の0.1%という低水準に留まり、同年第4四半期には0.25%に引き上げられることが見込まれる。

カーニット・フルグ中銀総裁は、「上半期の成長が比較的低かったことが、2017年の成長予測の下方修正につながったが、既に起きた変化を反映しただけであり、2018年の成長予測3.3%に影響はない」と述べた。

同総裁によれば、「この見通しは、個人消費が牽引した成長から輸出が牽引する成長への緩やかな移行を反映したものである。背景には、近年の個人消費の減少と世界貿易の改善がある。ここ数か月のインフレ率の低下は予想より大きく、インフレ率が目標範囲に到達するのは2017年第3四半期となるだろう。利上げペースは以前の見通しで示されたものより少し遅くなるであろう」。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/19-10-2017.aspx>)
報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-bank-of-israel-cuts-growth-forecast-1001208624>)



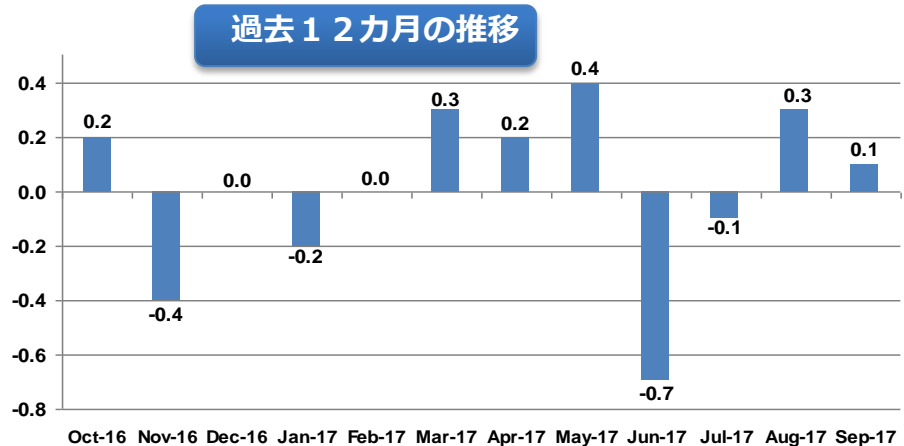
2. 消費者物価指数 (CPI)

- 9月期のCPIは0.1%上昇、市場期待超え。住宅価格の上昇続く。

2017年9月期の消費者物価指数は0.1%上昇した。事前の市場予想では価格下落が予想されていたところ、それを上回る結果となった。

9月期に価格上昇が著しかった製品は、生鮮食料品(7.9%)や家具・家庭用品(0.5%)、住宅費・教育(0.4%)で、逆に低下が著しかった製品は文化・娯楽(1.5%)、衣料・靴(0.7%)などである。

住宅価格は7-8月で0.2%上昇した。8月末までの12カ月間では4.2%上昇している。



出典: 報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-cpi-up-01-in-september-1001207896>)

グラフ出典: イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201710298) :

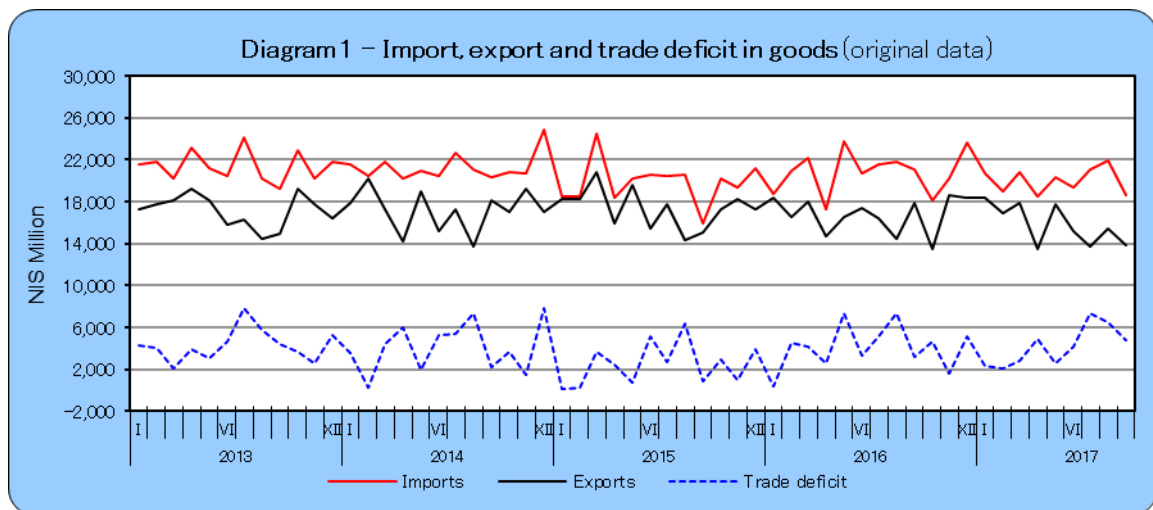
3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

- 2017年9月期は耐久財輸入が21.2%増、物品輸出が13.9%減

中央統計局の発表によれば、2017年9月期の物品輸入は186億NIS、物品輸出は138億NISであり、貿易赤字は48億NISとなった。

物品輸入は直前3カ月間で年率5.3%増加した。輸入の41%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、21%が消費者製品、19%が機械、装置、産業機械であった。残り19%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出は直前3カ月間で年率13.9%減少した。鉱工業製品の輸出が全体の85%を占め、14%がダイヤモンド、1%が農林水産品であった。工業製品輸出のうち48%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率8.6%減少した。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

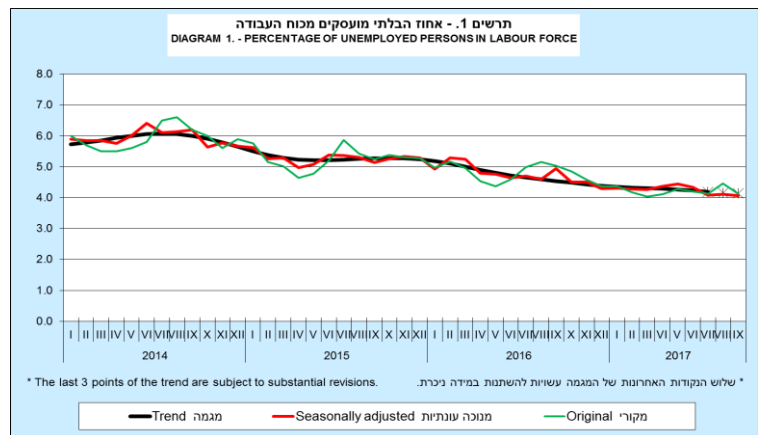
出典 : イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201716271)

4. 失業率推移 (UNEMPLOYMENT RATE)

- 2017年9月期の失業率平均は4.1%で変化なし

中央統計局は、2017年9月期の失業率は4.1%であり、2017年8月期と変化がなかったと発表した。性別で見ると男性は3.9%（前月比0.2%減）、女性は4.2%（前月同）となった。

15才以上人口における労働人口は400.5万人、うち被雇用者数は384.2万人（男性203.2万人、女性181.0万人）となった。労働参加率は63.9%で、前月から0.1%増。



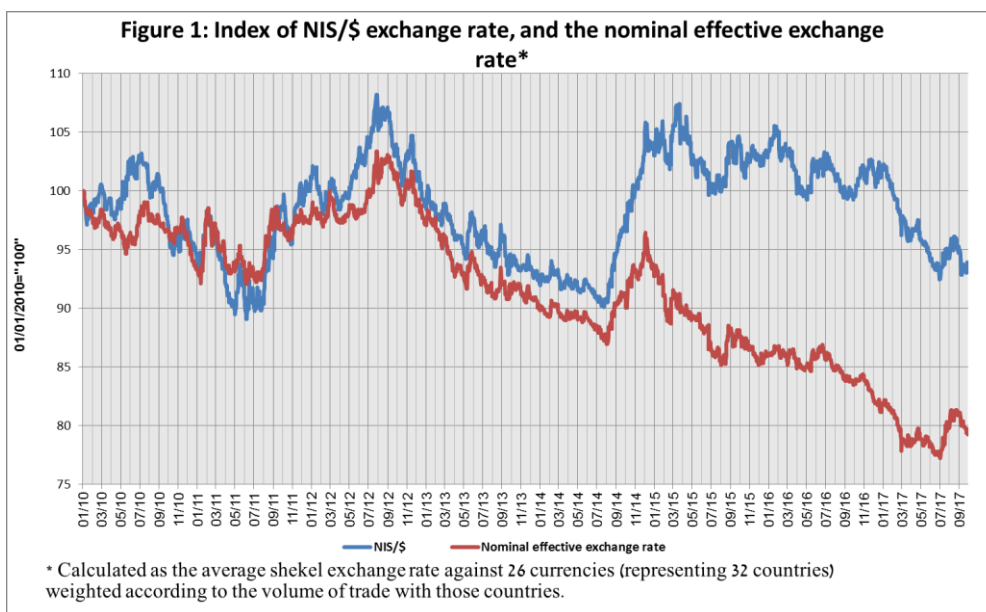
出典 : イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201720318)

5. 為替推移 (EXCHANGE RATE)

- 9 月期, ドルは世界的に上昇傾向の中, シェケルは対ドルで上昇。

2017 年 9 月期, シェケルは対ドルで約 1.9%高, 対ユーロで約 2.4%高となった。イスラエルの主要貿易相手国に対する実効為替レート(貿易加重平均)は, 約 2.2%高となった。世界的には, 9 月期には主要通貨に対してドルは上昇傾向にあった。

為替市場全体の取引量は約 1,230 億ドル, 1 日あたり取引量は約 72 億ドル(前月比 8%増)となった。非居住者による取引総額は 36%減少した。



(※ — : シェケル/ドル相場, — : 実効為替レート)

出典 : イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/03-10-2017.aspx>)

6. 公定歩合 (INTEREST RATE)

- 10 月, 公定歩合は 0.1%で据置き。

イスラエル中央銀行は, 公定歩合を 0.1%という低水準に据え置くことを決定した。中銀金融委員会は, 据置きの理由について, イスラエルのインフレ率が目標の 1~3%を大きく下回っていることを上げ「長期期待は目標範囲内に含まれているものの, 短期的には目標範囲を下回っている」とした。

「イスラエルの実体経済の活動指標は, 上半期の景気減速の後, 潜在成長率に沿って経済が成長し続けるとの評価を支持している。経済は, 明らかに, バランスの取れた成長に戻っていくであろう。」

出典 : イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/19-10-17.aspx>)

※次回の改訂発表日は, 11 月 27 日。

出典 : イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/10-7-17Interstrate.aspx>)

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● イスラエルの外貨準備高, 記録更新続く。

中央銀行による3日の発表によれば, 2017年9月末時点の外貨準備高は, 前月比3,100万ドル増加し, 過去最高を更新する1,111億ドルに到達した。現在, 外貨準備高はGDPの33.3%を占める。12カ月前の外貨準備高は980億ドルであった。

9月中, 中央銀行は天然ガス生産に伴うオフセットプログラムにより外貨2億ドルを購入。さらに民間移転1,300万ドルと再評価による準備金総額の上方修正1.56億ドルが増加を押し上げた。他方, 政府移転3.38億ドルにより上昇は抑えられている。

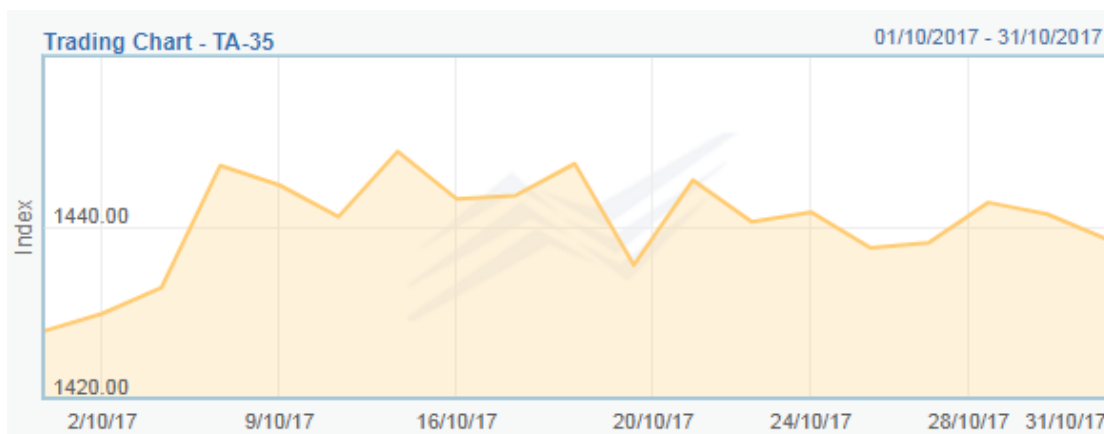
出典: イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/03-10-2017.aspx>)

8. 主要株価推移 (TA35)

3日, 世界的に影響力の高いSohn投資会議が, イスラエルで3度目の開催。テルアビブ証券取引所 (TASE) で開会式典が行われた。250人以上の専門家が参加する。

29日, TASEは, 初となる, 企業の社会的責任 (CSR) に特化した指標2種を発表した。

● 月間推移



● 年間推移



出典: テルアビブ証券取引所 (<http://www.tase.co.il/eng/pages/homepage.aspx>)

日本-イスラエル 経済関係

(出典：各社等発表，報道)

イノベーション 日本・イスラエルイノベーションサミット開催

イスラエルのイノベーションと日本のものづくり技術の融合と進化を促すことを目的に、東京・港区・DMM.com 本社にて、「ジャパン・イスラエル・イノベーションサミット」が開催される。

第2のシリコンバレーとして、多くの世界的大企業がイノベーションの拠点をおくイスラエルから、最前線で活躍するスピーカを招聘し、イノベーション創出の秘訣やビジネス連携の事例について紹介。さらに参加者相互のディスカッションを通じてこれからのオープンイノベーションの可能性を探る。

出典：サミットウェブサイト (<https://jiis.tokyo>)

詳細と申込は https://school.jma.or.jp/products/detail.php?product_id=100617 から。

イノベーション オープンイノベーション普及団体にイスラエル企業参画

外部の企業や団体との協業により、新たな技術やサービスの開発を促すオープンイノベーションの取組を広く普及啓発する団体「オープンイノベーションコンソーシアム」が発足。

この団体は起業支援の Creww (クルー、東京都目黒区)、企業向けコンサルティングのビザスク (同)、技術コンサルのリンカーズ (東京都中央区) が中心となって結成。アスタミューゼ (同千代田区)、パーソルキャリア (同)、イスラエルへの進出支援を手掛けるエイニオ (イスラエル) もコンソーシアムに加わった。

出典：報道 (<http://www.sankeibiz.jp/business/news/170927/bsl1709270500001-n1.htm>)

医療 コランダム，冠状動脈可視化の CATHWORKS に投資

イスラエルの機能的血管造影開発企業 CathWorks は、1,580 万ドルのシリーズ B 調達を終えたと発表した。同投資は、Quark Venture と Triventures が牽引し、Planven Investments, Pontifax, Corundum Open Innovation (コランダム・イノベーション株式会社 (本社：東京都港区，代表取締役 CEO：山本寧) のイスラエル子会社)，BioStar Ventures と戦略的投資家が参加した。

Cathworks は冠状動脈インターベンション (心臓の筋肉に酸素および栄養を送る動脈が狭くなった際に、それを血管の内側から拡げる治療) のための非侵襲的な冠血流予備量比 (FFR) 測定技術を開発している。同社が独自開発した「機能的血管造影法」のデジタルプラットフォームを用いれば、標準的な血管造影画像を用いて 5 分以内に三次元の冠状動脈樹を再構成し、全ての冠状動脈の FFR 分析結果を臨床医に示すことができる。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-catheterization-co-cathworks-raises-158-million-1001207081>)

フィンテック SBI, メッセンジャー送金 PAYKEY に投資

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾吉孝）の100%子会社で、ベンチャーキャピタルファンドの運用・管理を行う SBI インベストメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：川島克哉）は、同社が運営する「FinTech ファンド」を通じて、Decentralized Mobile Applications Ltd.（本社：テルアビブ、以下「DMA 社」）へ出資を行った。

DMA 社は、メッセンジャーサービスのプラットフォーム上でのシームレスな決済機能を可能にする唯一のサービスである「PayKey」を銀行へ提供している。同社のサービスを導入することで、各種メッセンジャーサービス上でモバイルバンキングの送金機能を簡易に提供できるようになるため、すでにオーストラリアの Westpac 銀行やトルコ大手の Garanti 銀行等、大手 6 行が導入しており、2017 年 8 月には英 HSBC 銀行が導入を決定している。今後も新たな金融機関での導入と事業の更なる拡大が見込まれる。DMA 社はすでにヨーロッパ、アジア、南米などの銀行へサービスを提供しているが、今後、世界展開を加速させていく予定で、SBI グループとアジア地域を事業対象とする合併会社の設立を予定している。

出典：SBI ホールディングス社発表 (https://www.nikkei.com/article/DGXLRS460854_Q7A021C100000/)

フィンテック イスラエル企業 9 社が訪日, SMBC がミートアップ

イスラエルイノベーション庁及びイスラエル経済産業省の主催により、イスラエルのフィンテック企業 9 社によるデリゲーションが日本を訪問。訪問団は、さまざまな日本企業を訪問し、B2B ミーティングを行った。

東京では、三井住友銀行が、駐日イスラエル大使館との協力の下、先端技術が集積する国として注目が集まるイスラエルより、フィンテック分野の企業使節団を招いたプレゼンテーション及び交流会を開催した。

出典：報道 (<http://www.yedatech.co.il/yt/news.jhtml?value=25448>) (ヘブライ語)
SMBC 社発表 (<https://mirai.ventures/event/event-750/>)

スタートアップ 日経新聞でイスラエル起業家特集

イスラエル起業家に聞く「スタートアップ大国の理由」(10/25)

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO22682410V21C17A0000000/>

イスラエルのスタートアップで米ニューヨークに拠点を置くマーケティング支援のデータトラマは 25 日、テレビ番組と CM の放送内容を調査・分析するエム・データ（東京・港、関根俊哉社長）と業務提携すると発表した。・・・

イスラエル起業の父が語る 官民ファンド成功の条件 (10/27)

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO22676350V21C17A0000000/>

洋の東西を問わず、経済成長の原動力になるベンチャー企業の育成は各国共通の課題だ。起業大国として知られるイスラエルでは、1993 年に政府主導で立ち上げた「ヨズマ」と呼ぶ官民出資のベンチャーキャピタル（VC）が、起業を増やす礎になった。その創始者で今は完全民営化したヨズマグループの会長を務めるイガール・エルリフ氏（77）に官民ファンド成功の秘訣を聞いた。・・・

ロボット

トヨタ研, INTUITION ROBOTICS に投資

ソーシャルロボットを開発するイスラエルの Intuition Robotics 社は、A ラウンドの調達を終え、トヨタリサーチインスティテュート (TRI) らの投資家から計 1,400 万ドルの投資を得たと発表した。他の投資家は、今ラウンドで初参加となる OurCrowd, iRobot, シードから参加している Maniv Mobility, Terra Venture Partners, Bloomberg Beta 及び個人投資家である。

この投資は、TRI にとって高齢者のためのロボット技術に対する初めての投資となる。

出典 : Intuition Robotics 社発表 (<https://www.prnewswire.com/news-releases/intuition-robotics-raises-14-million-series-a-investment-led-by-toyota-research-institute-300485873.html>)

観光

日本発, 訪日ユダヤ人旅行者の受入れセミナー開催

中部運輸局及び北陸信越運輸局では、日本イスラエル親善協会の協力の下、宿泊施設・飲食店・自治体等を対象に、日本初の「訪日ユダヤ人旅行者に対応した受入環境推進セミナー」を開催する。訪日ユダヤ人旅行者の受入に際して必要となる、宗教や食事などの留意事項への対応について説明するもの。

11月15日(水)に金沢会場(石川県地場産業振興センター, 先着100名), 11月22日(水)に高山会場(高山市民文化会館, 先着150名)。参加無料。

出典 : 中部運輸局発表 (<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/kankou2017092901.pdf>)

サイバー

丸紅 ITS, CYBER SECDO の事前対策型製品を販売

丸紅 IT ソリューションズ株式会社(本社:東京都墨田区、代表取締役社長:三浦 邦嗣 以下、丸紅 IT ソリューションズ)は、サイバーセキュリティに関する企業向けソフトウェアとサービスを提供する Cyber Secdo Ltd.(本社:イスラエル、ラアナナ市 CEO:Shai Morag)と国内独占販売代理店契約を締結し、同社の提供する事前対策型サイバー攻撃分析・復旧ソリューション「SECDO」の販売を開始する。

SECDO は、様々なセキュリティ製品のアラート通知を、人手による調査が必要な危険度の高いものかどうかを自動で判別し、危険度の高いアラートに対してはその根本原因を自動で特定する。加えて、企業が管理する全てのサーバーやクライアント端末の被害状況、感染経路を容易に把握できる情報を提供する。これにより、システム担当者がアラートを受けてから最短数分で被害の全貌を特定し、的確な対策を策定することが可能となる。また被害に遭ったサーバーやクライアント端末のサービスを止めることなく、悪意のあるプログラムの活動をリモートからピンポイントに停止することができ、事業への影響を最小限に抑えながら、迅速に被害からの復旧を進めることが可能となる。

出典 : 丸紅 IT ソリューションズ社発表 (<http://www.marubeni.co.jp/news/2017/group/00037.html>)

サイバー

イスラエル発・ダークウェブ人材育成アカデミー開設

株式会社テリロジーは、サイバー攻撃などの犯罪の温床であるダークウェブの脅威に立ち向かう人材の育成を目的とした「サイバー・スレット・インテリジェンス（以下、CTI）アカデミー」を、10月10日に開設すると発表した。

テリロジーでは、2016年11月にイスラエルのKELAと販売代理店契約を締結し、接続経路を匿名化する「Tor」などのネットワーク上で公開されるダークウェブでやりとりされる情報をモニタリングすることで脅威情報を検知し、契約企業に提供する、ダークウェブベースのCTIサービスを提供している。

出典：テリロジー社発表 (<http://www.terilogy.com/product/cyberthreatintelligence/index.html>)
報道 (<https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/1084875.html>)

自動化

インフォコムが NICE 社の業務自動化システムを提供開始

インフォコム株式会社（東京都渋谷区）は、「NICE RPA」の導入を促進するため、当社の企業向け IT サービスに容易に連携できる「インフォコム デジタルレイバー・ソリューション」を2017年10月から提供開始する。

NICE RPA は、イスラエルの NICE 社が開発した RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）で、世界各国で 200 社以上の導入実績がある。一般的に RPA は、人が行う定型業務を自動化して作業時間を大幅に削減するが、NICE RPA は、定型業務を一気に行う全自動ロボットと、プロセスの途中で人の判断や承認を加える半自動化ロボット（アシストロボット）の2つの機能を持つ。これらの組み合わせにより、幅広い業務への適用が可能。

出典：インフォコム社発表 (<http://www.infocom.co.jp/info/press/2017/p17100601.html>)

展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

家具 TIMBER 2017 (11月21～23日, テルアビブ)

木工家具の展示会。イスラエル企業約300社に加え、前回は18カ国から出展があった。木工家具製造のコンピュータ化なども反映されている。

<https://www.itex.co.il/sblisraelEN.aspx>

食・サービス FOOD & HOSPITALITY WEEK (11月28～30日, テルアビブ)

食産業・サービス産業に関するイベントを集中的に実施する「フード&ホスピタリティウィーク」の一環として、食品・飲料品の国際展示会「ISRAFOOD」、サービス業の設備に関する国際展示会「HOTEX」、キッチン・レストラン用品を扱う「KITEX」、製菓・製パン業関連製品を扱う「Bake-Cake」が開催される。

http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index_en.asp

http://www.stier.co.il/HOTEX/index_en.asp

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/bake-cake/>

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/kitex/>

ライフサイエンス ヘルスケア技術革新 (12月3～6日)

テルアビブ大学経営大学院とIATIが共催する、エグゼクティブ向け教育プログラム。ライフサイエンス産業を牽引する指導者層を作り出すことを目的としており、今年で11回目の開催。今年のテーマは「ヘルスケア技術革新 - アイデアから商業化へ」。

<http://biomedmanagement.tau.ac.il/>

医療 ICI 2017 (12月3～5日, テルアビブ)

心血管系(心臓, 脳及びその周辺)のイノベーションと、ライフサイエンス分野のハイテク産業に関する国際会議。中国と協力した「Wall-to-Wall- East Meet West」が開催。

<http://2017.icimeeting.com/>

テロ対策 IT & ST (12月13日, テルアビブ)

インテリジェンスと特殊部隊を扱う、世界唯一のカンファレンス・展示会。イスラエル国防省、インテリジェンス遺産&記念センター、退役軍人協会、シンベト、モサド、国防軍その他の組織が主催。今年のテーマは「ダイナミックな現実のインテリジェンスとテロ対策」。

<http://intelligence.israeldefense.co.il/en>

サイバー CYBERTECH (2018年1月29～31日, テルアビブ)

サイバーセキュリティの国際会議, 展示会。米国以外で行われるものとしては世界最大級。産業界, 政府政策決定者, 技術専門家等が世界から訪れる。ネットワーキング機会の提供も行っており, B2B ミーティング機会も提供される。

<https://www.cybertechisrael.com>

観光 IMTM (2018年2月6～7日, テルアビブ)

国内最大の年次観光国際展。2日間の会期で, 午前中はプロフェッショナル来場者専用, 午後からは一般客にも開放される。エコツーリズム, 医療ツーリズム, 文化ツーリズムなど様々なテーマでネットワーキングの機会が設けられる。

<http://www.imtm-telaviv.com>

都市 MUNI EXPO (2018年2月13～14日, テルアビブ)

イスラエルの地方自治体連合の年次イベント。イスラエルの257の地方自治体の幹部や, 地方所在企業などが参加する。イスラエルの国内外のサプライヤーや地方企業などが一同に介し, ビジネスの出会いの場を得る。今年のテーマは「イノベーションとスマートシティ」。

<http://www.muniexpo.co.il/%D7%9E%D7%95%D7%A0%D7%99-%D7%90%D7%A7%D7%A1%D7%A4%D7%95muni-expo-5/>

医療 国際 ADHD 会議 (2018年3月19～21日, テルアビブ)

慢性障害 ADHD に関し, その症状や臨床, 診断, 治療などを取り上げる国際学会。

<http://2018.adhdcongress.co.il/>

農業 AGRITECH (2018年5月8～10日, テルアビブ)

農業関連技術の国際展示会。製造, マーケティング, 研究開発など, 農業に関わる多様な企業が参加する。「イノベーションパビリオン」も設置され, イスラエルにおける最先端のイノベティブな農業技術が紹介される。

<http://agritechisrael.org>

サイバー CYBERWEEK (2018年6月17～21日, テルアビブ)

テルアビブ大学が主催するサイバーセキュリティに関する学術会議。一週間にわたり, メイン会場での学術会議に加え, ラウンドテーブルやパネルディスカッションなど多様なサイドイベントが開催される。

<https://cyberweek.tau.ac.il/> ※サイトは10月末時点で2017年情報